

# CABIN

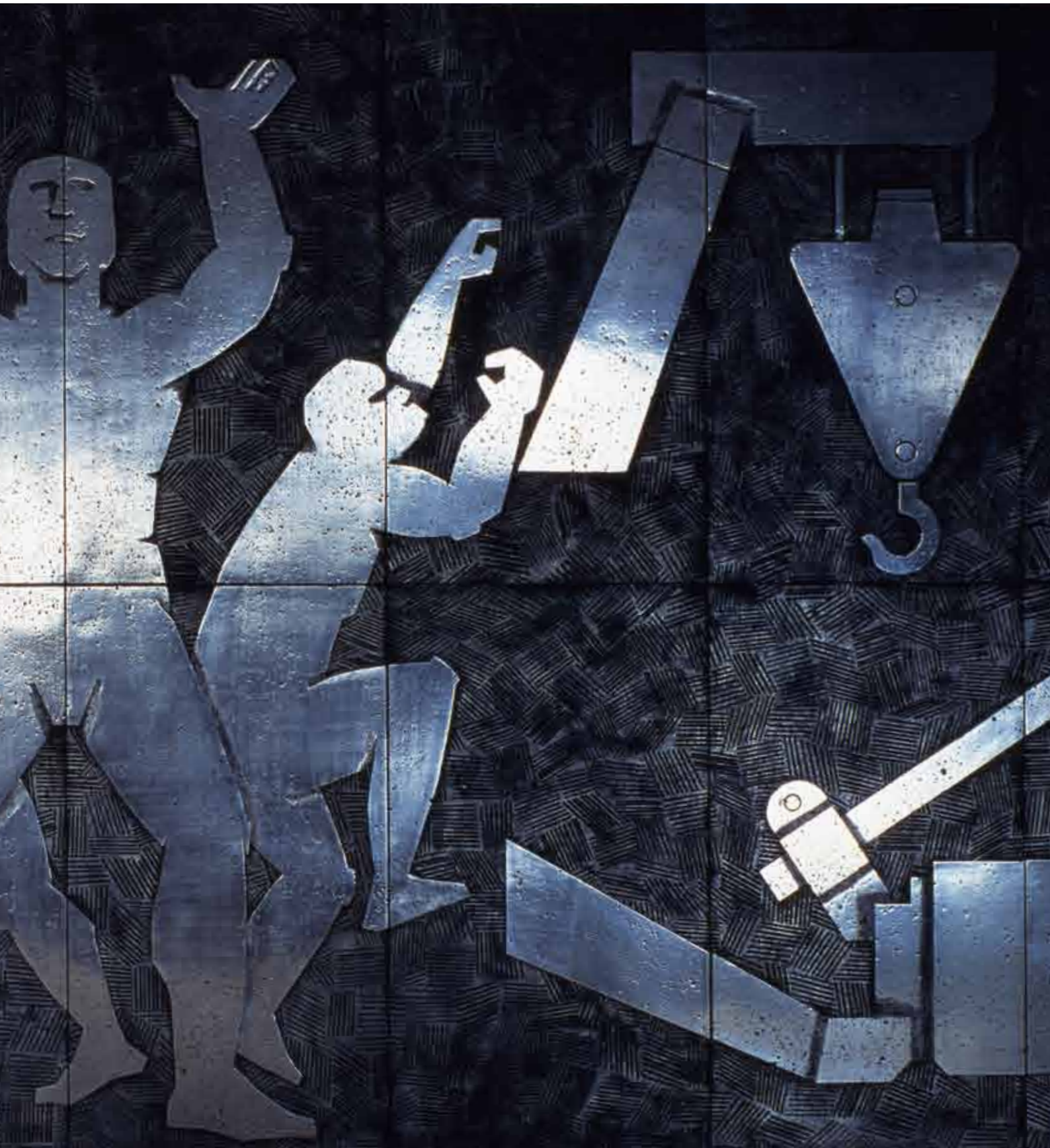
50周年記念特別号

81

MICHI

そしてこれから

50<sup>th</sup>





皆さまには50年という大変長い間アイチコーポレーションをご支援、ご鞭撻を頂きまして誠にありがとうございます。

1962年に電気・通信を中心とした社会インフラの整備が日本経済復興の礎と捉え、これらの事業を支えるお客さま方に「工事作業の安全と効率化の面でお役に立ちたい」その一念でスタートしたのがアイチコーポレーションであります。

今後もお客さまの現場作業のより一層の改善や機械の活用維持管理の改善に貢献し、お客さまにとって無くてはならないビジネス・パートナー企業を目指してまいります。

これからも皆さまと共に歩むアイチコーポレーションを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長 **鈴木尚郎**



おかげさまでもちまして、弊社は創立50周年を迎えることができました。

これまで弊社はお客さまに近いところから現場作業の安全・効率化を図ることに注力し、経営のお役に立つべく努力をしております。「人がさらに安全な作業を行える環境づくりとは何か」を作業環境創造企業として実現させることが使命と考えております。

今後はその思いに加え、環境への“思いやり”に配慮した“エコアイチ”商品、お客さまに安全で効率的かつ経済的に機械をご使用頂ける“SMIL”をご提案させていただきます。

ぜひ、これからも“身近なアイチ”としてお付き合い頂けますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **佐藤則夫**

INDEX

ご挨拶.....2	「SMIL」のご紹介.....12
アイチコーポレーション 50年のあゆみ.....3	アイチ テクノプラザ 「歴史館」のご案内.....14
「エコアイチ」のご紹介.....8	

表紙写真：本社1階ロビー壁面レリーフ

いまや人に代わって 掘る 持ち上げる 昇るといった作業を機械が行い 人はこれを縦横に駆使する事でその真価を発揮する。長い人間の歴史は 人に道具を創る英知と それを使う知恵を身につけさせたのである。

アイチコーポレーション

# 50年のあゆみ

私たちアイチコーポレーションは、日本のインフラづくりに携わる方々の作業の安全・効率の向上を事業目標に、現場作業の機械化や新工法の開発・普及を、お客さまと共に取り組んでまいりました。

その50年にわたるアイチコーポレーションのあゆみを、社会のあゆみとともにご紹介いたします。

社会のあゆみ



東京オリンピック開催

アポロ11号が人類初の月面着陸を果たす



日本万国博覧会(大阪万博)開催

オイルショックが起こる



会社のあゆみ



1962(昭和37)年2月  
「機械化車両を開発する専門メーカー」として「愛知車輛」(現在のアイチコーポレーション)を創立しました

社会の発展と共にお客さまのニーズに 대응べく、生産能力の増強と内製化で自社技術の向上を図るとともに、車両を最良の状態で使用頂けるようサービスネットワークを整えました



各業界のお客さま向けのご提案の場として各種フェアを開催し、お客さま課題解決に向けた取り組みをしてまいりました

## 1960年代～

A型 建柱車  
1962(昭和37)年

作業員が一番嫌がる仕事である「建柱作業」を機械化しようという思いから、当社の原点というべき「A型建柱車」を開発しました



高所作業車1号機  
1965(昭和40)年  
建柱後の柱上作業の安全確保と効率化のため、高所作業車を開発しました



ACD4E型 穴掘建柱車  
1966(昭和41)年  
「建てる」「掘る」を一体化した穴掘建柱車を開発しました



F500型 クレーン車  
1968(昭和43)年  
「吊る」ためのクレーン車を開発しました

B160型 バックホー  
1969(昭和44)年  
「掘る」ためのバックホーを開発しました



## 1970年代～

K200型 ケーブル車  
1970(昭和45)年  
ケーブルの繰り出し作業に対応したケーブル車を開発しました



TW250型 ケーブル牽引車  
1970(昭和45)年  
地中線敷設工事に対応したケーブル牽引車を開発しました



D400E型 穴掘建柱車  
1971(昭和46)年  
電気・通信工事業界で穴掘建柱車の導入が進みました



SH135型 配電工用高所作業車  
1976(昭和51)年  
活線作業装置としての絶縁性能を確保した配電工用高所作業車を開発しました



東北新幹線・上越新幹線開業



バブル景気



東京ドーム完成

昭和天皇が崩御  
元号が昭和から平成へ



「ベルリンの壁」崩壊



関西国際空港開港



阪神・淡路大震災発生



Windows95発売



1980(昭和55)年、お客さまにより分かりやすいご提案を行うための「工法開発センター」を他社に先駆け開設しました



1985(昭和60)年には、多品種での効率よい生産実現と先行した新技術開発の拠点として、群馬県に「新治事業所」を開設しました

1981(昭和56)年名証2部、1988(昭和63)年には東証1部に上場を果たしました



1990(平成2)年、お客さま宿泊研修施設として、新治工場に「テクノプラザ」を開設しました

1992(平成4)年、「作業環境創造企業」を目指して「アイチコーポレーション」に社名を変更しました

1995(平成7)年、「杭州愛知工程車輛有限公司」を設立しました



1999(平成11)年、お客さまの資格取得をより専門的にサポートするために「株式会社アイチ研修センター」を設立しました



1980年代～



**SP180型 自走式高所作業車**  
1981(昭和56)年  
船舶の建造や修繕作業から足場を無くして効率化する「無足場工法」実現に向けて、足場のかわりとなる自走式高所作業車を開発しました



**SR120型 自走式高所作業車**  
1983(昭和58)年  
地盤の悪い建設現場での「無足場工法」実現に向けて、クローラタイプの自走式高所作業車を開発しました



**SV030型 小型自走式高所作業車**  
1987(昭和62)年  
大規模建造物の内装工事での「無足場工法」実現に向けて、ホイールタイプの小型自走式高所作業車を開発しました



**RV040型 小型自走式高所作業車**  
1985(昭和60)年  
大規模建造物の内装工事での「無足場工法」実現に向けて、クローラタイプの小型自走式高所作業車を開発しました



**SH080型 高所作業車**  
1986(昭和61)年  
通信工事業界で、高所作業車の導入が進みました



**SH138型 配電工用高所作業車**  
1984(昭和59)年  
配電工事業界で、高所作業車の導入が進みました



**SN130型 配電工用多関節型高所作業車**  
1985(昭和60)年  
無昇柱での配電工事の実現に向けて、多関節型高所作業車を開発しました



**SC400型 直屈伸型大型高所作業車**  
1987(昭和62)年  
最大高さが40mに届く、大型の高所作業車を開発しました



**SK130型 高所作業車**  
1985(昭和60)年  
建設・設備メンテナンス工用高所作業車を開発しました

**マニピュレーター**  
1989(平成元年)

無昇柱で配電工事すべてができる次世代型高所作業アームであるマニピュレーターを先駆的に開発。その使用効果を確認しました



1990年代～



**SJ240型 先端屈折型高所作業車**  
1990(平成2)年  
複雑な設備に対応する、建設・設備メンテナンス工用高所作業車を開発しました



**SJ126型 先端屈折型高所作業車**  
1996(平成8)年  
建設・設備メンテナンス工事業界で、高所作業車の導入が進みました



**TZ15A型 重荷重高所作業車**  
1998(平成10)年  
一度に大量の資材を作業場所に運べる、重荷重高所作業車を開発しました



**SH145/ SN145型 配電工用高所作業車**  
1995(平成7)年  
配電工事業界では、低公害ニーズに対応した、バッテリー式低騒音ユニットの導入が進みました



**SF44A型 橋梁点検車**  
1998(平成10)年  
高架道路の防音壁や、橋梁での作業に対応した、橋梁点検車を開発しました



**RL050型 軌道両用高所作業車**  
1997(平成9)年  
夜間の限られた時間に作業を行う鉄道工用の高所作業車を開発しました



**SH106型 高所作業車**  
1997(平成9)年  
電気・通信工用向けに、作業範囲を拡大した高所作業車を開発しました



**SH105EV型 高所作業車【試作車】**  
1996(平成8)年  
静穏に作業ができ、CO2排出もない環境にやさしい全電動型(バッテリー駆動)車両を開発しました



中部国際空港  
開港



愛・地球博開催



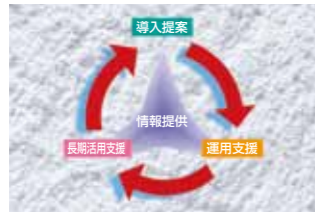
リーマンショックなど  
景気低迷続く

小惑星探査機「はやぶさ」  
が地球に帰還



東日本大震災発生

東京スカイツリー開業



2002(平成14)年、業務資本提携  
により、豊田自動織機グループの  
一員となりました



2008(平成20)年、オランダ  
(AICHI Europe B.V.)と中国  
(浙江愛知工程機械有限公  
司)に子会社を設立しました

2001(平成13)年、お客さまの保有す  
る機械化車両について、導入から廃車  
までの価値を最大化するため、アフター  
サービスなどをフォローする「ライフサイ  
クルサポートシステム」を提案しました

2011(平成23)年、3月に発生した  
東日本大震災。その復旧活動にお  
いて、アイチコーポレーションの車両  
は様々な形で貢献しました



2012年  
創立50周年

2012(平成24)年2月に、アイチ  
コーポレーションは創立50周年を迎  
えました。「エコアイチ」や「SMIL」  
等、お客さま貢献に向けた新たな取  
り組みを開始します

2000年代～

2010年代



SMO5A型  
お客さまサービスカー  
2000(平成12)年  
軽自動車サイズで宅内サービ  
スに最適化したお客さまサー  
ビスカーを開発しました

GD50A型 住宅基礎工事車  
2002(平成14)年  
機動力向上のニーズに対応した、  
住宅基礎工事車を開発しました



SE10A型  
先端屈折型高所作業車  
2002(平成14)年  
長いスパンでの連続作業や「障  
害物をかわして作業を行いたい」と  
いうニーズに対応した、高所作業車  
SEシリーズを開発しました



SE08A型  
先端屈折型高所作業車  
2008(平成20)年  
通信工事向けに「障害物をかわして  
作業を行いたい」というニーズに対  
応した、高所作業車を開発しました



SS12A型  
高所作業車  
2001(平成13)年  
ジャッキの横方向への張り出しが  
なく、設置がしやすい高所作業車  
SSシリーズを開発しました



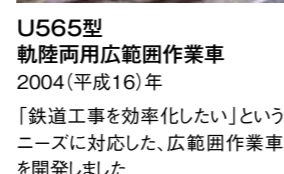
SV04B型  
小型自走式  
高所作業車  
2003(平成15)年  
建設・設備メンテナンス  
工事向けに、車体を小型  
化した、小型自走式高所  
作業車を開発しました



SK22A型 高所作業車  
2003(平成15)年  
建設・設備メンテナンス工事向けに、車体を小  
型化し、作業範囲を拡大した高所作業車を開  
発しました



U624型 軌陸両用張替作業車  
2008(平成20)年  
「電線線の張替工事を安全に効率  
化したい」というニーズに対応した、  
協調運転機能付きの張替作業車  
を開発しました



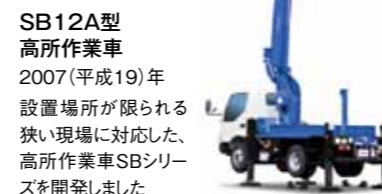
U625型 軌陸両用架線作業車  
2008(平成20)年  
「電線線の張替工事を安全に効率  
化したい」というニーズに対応した、  
協調運転機能付きの架線作業車  
を開発しました



SH15B型 配電工事用高所作業車  
2004(平成16)年  
配電工事業界では、導入される高所作業車の8  
割がバッテリー式低騒音ユニット付きとなりました



SH11A型 高所作業車  
バッテリー仕様車  
2008(平成20)年  
通信工事業界でも、バッテ  
リー式低騒音ユニットの導  
入が進みました



SB12A型  
高所作業車  
2007(平成19)年  
設置場所が限られる  
狭い現場に対応した、  
高所作業車SBシリ  
ーズを開発しました



SH10A型 高所作業車  
走行充電式バッテリー仕様車  
2010(平成22)年  
電気・通信工事向けに、走行時に  
充電ができるバッテリー式低騒音ユ  
ニットを開発しました



U650型 軌陸両用電柱建替車  
2011(平成23)年  
「軌道内での電柱建替作業を効率的  
に行いたい」というニーズに対応した、  
電柱建替車を開発しました



SJ30ARS型  
先端屈折型高所作業車  
2012(平成24)年  
「限定中型免許で運転できる車両で、  
より高い場所での作業を行いたい」と  
いうニーズに対応した、30m級高所  
作業車を開発しました



WU09A型  
アップ&オーバー型  
自走式高所作業車  
2011(平成23)年  
工場設備メンテナンス工事向けに「障  
害物をかわして作業を行いたい」とい  
うニーズに対応した、自走式高所作業車  
を開発しました



SK17A型 高所作業車  
バッテリー仕様車【参考出品】  
2012(平成24)年  
建設・設備メンテナンス工事向けパ  
ッテリー仕様車を開発しました



これからの世代にふさわしい「環境配慮型商品」のご提案。

それが、**EcoAichi**です。

■作業環境創造企業として、エコ商品をご提供することで、お客さまの環境活動のお手伝いをしたいと考えます。

- お客さまの作業現場での苦情を解決する。\_\_\_\_例)騒音対応・排気ガス対応・作業時間の短縮・・・
  - お客さまの環境改善活動にご協力する。\_\_\_\_例)HVシャシ架装・CO<sub>2</sub>排出量削減・効率的運用を支援・・・
- そして、「使う人も気持ちいい」「周囲の人も心地よい」商品を目指します。

■アイチコーポレーションが考える3つの「思いやり」

アイチコーポレーションの考えるエコ。それは、「思いやり」です。アイチコーポレーションでは、現場作業に携わる方はもちろん、近隣にお住まいの方々から地球環境まで、我々を支えてくれる全てに対する「思いやり」を実現する商品を「エコアイチ」と名付けました。

- ① 作業する方への思いやり
  - 静かな作業環境
  - メンテナンスフリー
  - かんたん操作
- ② 周りの方への思いやり
  - 騒音を出さない
  - 排気ガスを出さない
- ③ 地球環境への思いやり
  - CO<sub>2</sub>排出量削減
  - 燃費削減 ●省資源
  - 環境負荷物質削減



基準をクリアした「環境配慮型商品」に、エコアイチマークを付与しています。

CO<sub>2</sub>排出量、有害物質排除、燃費効率など、厳正な社内基準をクリアした商品を「エコアイチ対象商品」として、お客さまにご提供してまいります。



## ■ 様々な作業環境に対応する多彩なラインアップ

電気工事や通信工事にとどまらず、設備メンテナンス工事や建設工事、さらには建柱工事など、あらゆる現場、あらゆる作業シーンに対応した多彩なラインアップ。これからの世代にふさわしい商品として、次々に展開してまいります。



■SJ30ARS型 30m先端屈折型高所作業車 リチウムイオンバッテリー仕様【参考出品】

- 軽量化 限定中型免許(旧普通免許)で運転可能、作業床高さ 30.6m【国内初】
- 軽量化 大幅な軽量化にてトータル燃費、CO<sub>2</sub>排出量 30%低減
- 電動化 リチウムイオンバッテリー搭載【参考出品】
- 安全 制御装置の2重安全システム採用



■SH15B型 配電工用高効率バッテリー車【参考出品】

- 電動化 一日当たりの作業可能時間 25%延長
- 電動化 一日の全作業で排気ガス「ゼロ」
- 電動化 バッテリー寿命 30%延長 バッテリー交換コスト低減



■SV04型 全電動型小型自走式高所作業車【参考出品】

- 電動化 交流モーター駆動、電気式パワーステアリングに加え、下降エネルギー・制動エネルギー回生により省電力化50%を実現(PAT出願中)
- 電動化 完全油圧レスによるクリーンな作業環境実現
- 電動化 メンテナンスフリーバッテリー採用により補水、およびバッテリー交換不要
- 安全 プロポーションナルステアリングの搭載により、感覚どおりの簡単操作を実現(PAT出願中)

■RM05型 全電動型小型自走式高所作業車【参考出品】

- 電動化 交流モーター駆動、電気式パワーステアリングに加え、下降エネルギー・制動エネルギー回生により省電力化30%を実現(PAT出願中)
- 電動化 完全油圧レスによるクリーンな作業環境実現
- 電動化 メンテナンスフリーバッテリー採用により補水、およびバッテリー交換不要
- 安全 クローラタイプで初めてのプロポーションナルステアリングの搭載により、感覚どおりの簡単操作を実現(PAT出願中)



■狭隘地向け屈折型高所作業車【参考出品】

- 軽量化 狭隘地道路へ進入可能なコンパクトサイズ(PAT出願中)
- 軽量化 作業床高さ5mでの広い作業範囲を確保
- 電動化 バッテリー駆動で静かな作業環境を実現
- 電動化 作業時は排気ガス「ゼロ」
- 作業性 大型工具箱に資機材搭載可能



■D50A型 ハイブリッド式穴掘建柱車

- 電動化 電気・通信工事業界初の電動穴掘建柱車(PAT出願中)
- 電動化 都市部での静音・排気ガス「ゼロ」工事を実現
- 電動化 ハイブリッド化による燃費・CO<sub>2</sub>排出量 40%低減
- 作業性 3モード選択システムの採用(PAT出願中)
  - ①バッテリーモード……静音、排気ガス「ゼロ」
  - ②ハイブリッドモード……ペダル踏み量に応じた自動ハイブリッドモード(PAT出願中)
  - ③エンジンモード……従来通りのパワーで頑強地盤の掘削可能



■SH11A型 電気・通信工用ハイブリッド車架装【参考出品】

- 電動化 通信工事業界初のハイブリッド車架装
- 電動化 走行時の燃費・CO<sub>2</sub>排出量 10%低減 走行時と作業時の燃費・CO<sub>2</sub>排出量 30%低減
- 電動化 バッテリー駆動で静かな作業環境を実現 作業時は排気ガス「ゼロ」
- 電動化 一日の作業が十分行える大容量バッテリー搭載



■SH10A型 走行充電式メンテフリーバッテリー車【参考出品】

- 電動化 ガレージ充電不要(PAT出願中)
- 電動化 メンテナンスフリーバッテリー採用で日常点検、補水作業不要
- 電動化 通信接続～引込作業の電動化 排気ガス「ゼロ」・低騒音化
- 作業性 工具箱の集中ドアロック採用



■電動式軌陸両用走行体【参考出品】

- 電動化 ACダイレクト・エネルギー回生により燃費・CO<sub>2</sub> 50%低減(PAT出願中)
- 電動化 走行充電・エネルギー回生によりガレージ充電不要(PAT出願中)
- 安全 揺動アクスルによる走行安定性の向上(PAT出願中)
- 軽量化 停車作業時は揺動ロックにより広い作業範囲(PAT出願中)



# 機械の「安全管理」「効率運用」の最適化 を実現するアイチコーポレーションの新システム。 それが「SMIL<sup>®</sup>」(Smart Messenger & Intelligence Lines System)です。

## ICT技術の進化が生んだ最新システム「SMIL」とは

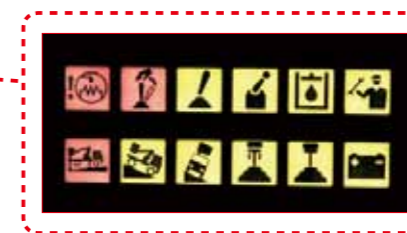
お客さまを取り巻く環境は、急速に進化するICT技術により、業務全般にわたって大きく変化し続けています。アイチコーポレーションでは、ICT技術を利用して、お客さまにご利用いただいている機械情報を「見える化」する「SMIL」という仕組みを構築しました。機械の稼働時間、回数、日時、危険操作等の情報を「見える化」することで、コスト削減、作業効率向上、安全管理などにお役立ちする有用なデータを様々な形で提供いたします。

### SMIL導入による、お客さまの現場・管理部門・経営部門へのお役立ち



## SMILの具体的な仕組みと「見える化」のイメージ

### ① 現場では ▶ オンボードモニタ装置で異常や点検時期を「見える化」します



作業には直感的な判断が可能な「ピクト表示」による「見える化」で、異常時の判断スピード向上と安全確保のお手伝いをします。

### ② 管理部門では ▶ クラウドコンピューティングを活用して作業の状況を「見える化」します



オンボードモニタ装置により得た作業時間や操作回数等の情報を通信で取得し、グラフや地図一覧で情報提供。作業機械の位置情報などの把握管理が可能となります。

### ③ 経営部門では ▶ データ分析により経営課題を「見える化」します



「異常・警告履歴一覧」「積算操作・作動状況」および「車両の稼働時間」等をデータ化。分析した結果をバックデータとして活用し、報告書式で提示します。

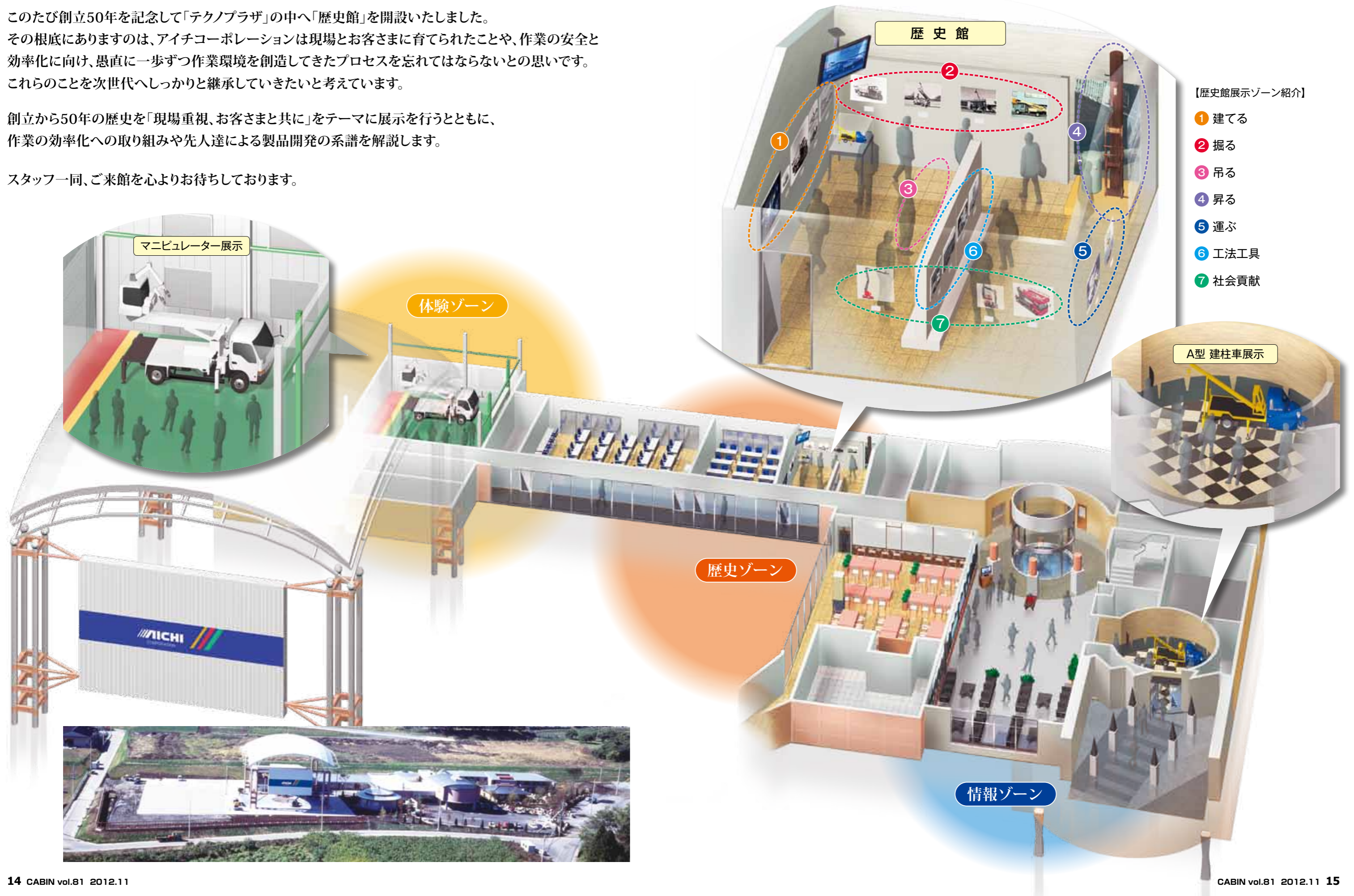
機械にSMIL装置本体を取り付け、作業時間や回数等のデータをGPSで捉えた位置情報と一緒に記録し、現場情報を共有することで、様々な課題解決にお役立ちします。

# 「歴史館」開設のご案内

このたび創立50年を記念して「テクノプラザ」の中へ「歴史館」を開設いたしました。  
 その根底にありますのは、アイチコーポレーションは現場とお客さまに育てられたことや、作業の安全と効率化に向け、愚直に一步步作業環境を創造してきたプロセスを忘れてはならないとの思いです。  
 これらのことを次世代へしっかりと継承していきたいと考えています。

創立から50年の歴史を「現場重視、お客さまと共に」をテーマに展示を行うとともに、  
 作業の効率化への取り組みや先人達による製品開発の系譜を解説します。

スタッフ一同、ご来館を心よりお待ちしております。





本社	〒362-8550 埼玉県上尾市領家1152	048 (781) 1111(代)
国内営業部	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰1-15-4	048 (852) 1421(代)
ITサポート部	〒362-8550 埼玉県上尾市領家1152	048 (781) 3715(代)
北日本支店	〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3-4-8	022 (236) 0421(代)
北日本支店北海道	〒063-0834 北海道札幌市西区発寒十四条4-2-70	011 (665) 1301(代)
東京支店	〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰1-15-4	048 (852) 1104(代)
名古屋支店	〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町丸の内70-1	052 (621) 5112(代)
名古屋支店北陸	〒930-0177 富山県富山市西二俣354	076 (434) 2181(代)
大阪支店	〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川3-9-56	06 (6307) 4567(代)
中四国支店	〒739-0151 広島県東広島市八本松町原10852-57	082 (429) 2011(代)
中四国支店四国	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分59-7	087 (874) 0808(代)
九州支店	〒811-2207 福岡県粕屋郡志免町南里2-26-1	092 (935) 5353(代)
サテライト沖縄	〒900-0014 沖縄県那覇市松尾2-17-29タウンコート玉商B棟6-G	098 (867) 7337(代)

## 国内関連会社

(株)アイチ研修センター 〒362-8550 埼玉県上尾市領家1152 048 (725) 4441(代)

# 株式会社 アイチ コーポレーション

<http://www.aichi-corp.co.jp/>

